



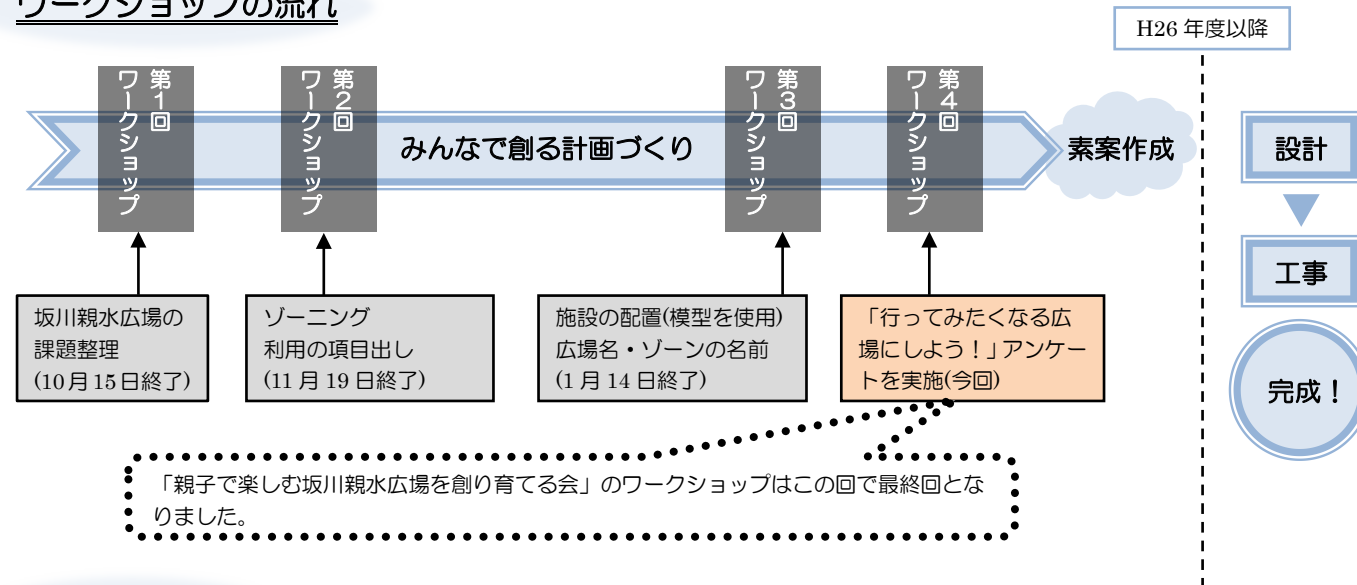
前回（第三回目）は班ごとに話し合い、広場の模型をつくり発表しました。最終回となる今回は、前回までのワークショップを踏まえ、事務局よりたたき台となる案を提示して説明を行いました。その後、参加者の方々にその案を見ていただき、この広場ができれば年何回この場所を訪れようと思うか、訪れる時の具体的な状況。更には、この広場にもっと来たくするには何が必要か、そして市民の皆さんが関わられることは何かないでしょうか？といったアンケートを書いていただき、班で話し合った意見を発表しました。

## 「第4回ワークショップ」を開催しました！

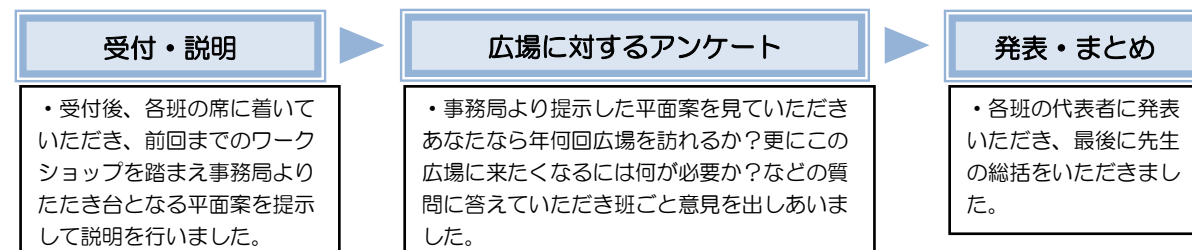
松戸市主催による地域住民・学識者・大学生の参加による第4回ワークショップが2月25日に開催されました。

参加団体等：上矢切第二町会、中矢切町会、下矢切第三町会、栗山第一町会、上矢切第三町会子ども会、下矢切第一町会子ども会、矢切土地改良区、NPO 法人やきり倶楽部、聖徳大学、松戸市（順不同）  
以上の計 27 人の方々にご参加いただきました。

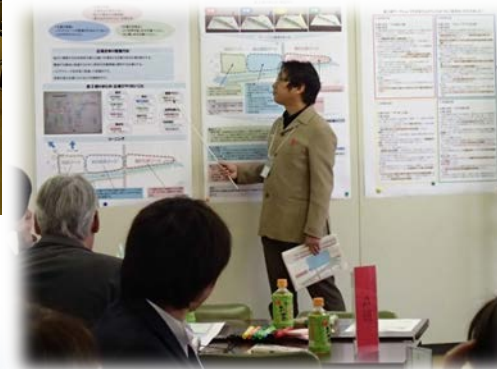
### ワークショップの流れ



### 第4回目の内容



### 「たたき台案説明の様子」



↑各回の振り返りと各ワークショップの意見をもとにして作成した整備方針や広場のゾーニング・各ゾーンの整備方針について説明いたしました。



↑事務局が作成した広場の案の説明と合わせて水遊び場や楽山・デッキ・健康遊具などの施設イメージの説明をいたしました。

### ワークショップ資料



↑今回のワークショップで使用したアンケート。質問は、広場ができた時の年間利用回数は？広場をもっと良くするためにはどうしたらよいか？広場に対して皆さんが関わっていけることはないか？等

### 「第4回グループワークの様子」



A 班



B 班



C 班



D 班

・たたき台案の説明を聞き、その後班の中で広場に対するアンケートの記入を行いました。記入後は班の中で参加者の方々に実際に完成した時の広場の利用回数や広場をもっと良くするためにはどうしたらよいか、更には今後の広場との関わり方等の意見を出し合いまとめました。  
・最終的に班ごと発表しました。



## 各班の発表内容



**A 班**

### 年間広場利用回数

- 「班平均 13 回」(700 回※朝晩散歩する人がいる。)  
 「もっと行きたくなる広場にするためには!？」  
 「皆さんができる広場との関わり方は!？」
- ・犬と一緒に散歩ができる。
  - ・ベンチ、水飲み場がもう少しあると良い。
  - ・水遊び場周りに藤棚が欲しい。
  - ・小さい子供が遊べる砂場があると良い。
  - ・きれいなトイレが欲しい。
  - ・ゴミ箱があると良い。
  - ・敷地北側の大きなケヤキは残してほしい。
  - ・農地境のキンモクセイは残してほしい。



**B 班**

### 年間広場利用回数

- 「班平均 10~12 回」  
 「もっと行きたくなる広場にするためには!？」  
 「皆さんができる広場との関わり方は!？」
- ・素足で遊べるがコンセプトなので広場を清潔に保つことが大切。犬の立ち入りや BBQ などは禁止する。
  - ・安全対策として防犯カメラを設置する。
  - ・中高生用のスポーツ広場としての使い方はできないか?
  - ・定期的なイベントを考えていく必要がある。
  - ・木陰がもう少し欲しい。
  - ・広場としての案内が必要。
  - ・子供会や PTA、町内会などで清掃の手伝いを行う。



**C 班**

### 年間広場利用回数

- 「班平均 10~15 回」(35 回※ふらっと立ち寄る回数も含む)  
 「もっと行きたくなる広場にするためには!？」  
 「皆さんができる広場との関わり方は!？」
- ・季節ごとの見どころとなる植栽が欲しい。
  - ・安全で清潔なきれいな場所。
  - ・トイレの場所は提示案の位置が良い。
  - ・イベントを開催したい。
  - ・十分に管理を行う必要がある。
  - ・安全対策として防犯カメラを設置する。
  - ・町内会などで防犯パトロールを行う。
  - ・子供会や町内会など地域住民で清掃などちょっとした手伝いを行う。



**D 班**

### 年間広場利用回数

- 「班平均 26 回」  
 「もっと行きたくなる広場にするためには!？」  
 「皆さんができる広場との関わり方は!？」
- ・水遊び場はミストより噴水の方が良いのではないかと?
  - ・広場には自転車で来る人が多いと思われるので駐輪場が欲しい。
  - ・屋根付の座れる場所が少ないのでもう少し欲しい。
  - ・遊具は壊される恐れがあるのであまりたくさんは必要ない。施設満載の広場よりも子供たちが遊びを考えられる場所を提供。
  - ・地域住民を巻き込んだイベントを開催したい。
  - ・目を見張るような植栽が欲しい。
  - ・休みに地域の子供たちを呼んで声を聞く会を開いても良いのでは?

## 「第 4 回意見のまとめ」

### 「広場の使い方についてのご意見」

- ・犬と一緒に散歩ができる。
- ・素足で遊べるがコンセプトなので広場を清潔に保つことが大切。犬の立ち入りや BBQ などは禁止する。
- ・中高生用のスポーツ広場。
- ・施設満載の広場よりも子供たちが遊びを考えられる場所として広場を提供。など

### 「欲しい施設についてのご意見」

- ・水遊び場の周りに藤棚・砂場・ベンチや水飲み場をもう少し多く・防犯カメラ
- ・サイン関係(案内板)・駐輪場・ゴミ箱
- ・きれいなトイレ(トイレの場所は人目の届く場所が良い)
- ・噴水(水が飛び出すタイプなど)
- ・屋根付の座れる場所。など

### 「植栽についてのご意見」

- ・敷地北側の大きなケヤキや農地境のキンモクセイは残してほしい。
- ・木陰がもう少し欲しい。
- ・季節ごとの見どころとなる植栽が欲しい。
- ・目を見張るような植栽が欲しい。など

### 「管理・運営についてのご意見」

- ・定期的なイベントの開催。(フリーマーケットや朝市その他に周辺農地や野菊の墓など地域とタイアップしたイベント)
- ・イベントを実施することで広場に愛着を持ってもらう。
- ・十分な管理をして広場を明るく安全で清潔に保つことが大切。など

### 「住民参加についてのご意見」

- ・子供会や町内会などで防犯パトロールを実施する。
- ・子供会や PTA、町内会など地域住民で集まり清掃活動の手伝いをする。など

## 大成先生のまとめ

これまでのワークショップでは主に物質的なデザイン(築山や遊具などの施設)を考えてきたわけですが、デザインという言葉にはそこに人が関わることで生まれるデザインもあります。広場というデザインされた場所に人々がどのように関わるのか、どのようにその場所を良くしていくのか、最終的にはそういったことを考えていく必要があると改めて感じました。

私なりに今この広場に足りないと感じたものは「キャッチ」(特色)です。どこにでもある広場というのは地域にとってあまり誇りになる場所ではなくなってしまっているのではないのでしょうか。地域外から見ても面白い場所があると話題になればちょっと行ってみようという気になると思います。また、地域外の人から好評だともっと「維持していこう」、「守っていこう」という気持ちになると思います。やはり地域の外から見ても魅力のある場所となっていく事がこの広場の価値を上げていく事だと思いき、延いては地域景観の向上や矢切地区の誇れる場所となっていくと思いき。いずれにしてもこの広場に関わっていく人が多ければ多いほど、「よりきれいに」・「より楽しく」活用されていくのではないのでしょうか。

今回のワークショップで皆さん改めて広場について考え、他の人の意見を聞くことができ非常に有意義な会だったのではないのでしょうか。私自身も色々勉強させていただきました。皆さんどうもお疲れ様でした。

お忙しい中、「親子で楽しむ坂川親水広場を創り育てる会」にご参加いただき誠にありがとうございました。皆様から頂いた貴重な意見は今後の広場創りの参考にしていきたいと考えております。どうもありがとうございました。事務局一同

問合せ先 松戸市建設部 河川清流課  
 電話：047-366-7359 メール：mckasenseiryu@city.matsudo.chiba.jp

